

発行日
平成22年5月20日

発行
足立信也事務所
広報委員会
〒879-7761
大分市中戸次6126-1
TEL (097) 548-8484
FAX (097) 548-8400

CONTENTS

- プロローグ 1
- 雇用対策 2
- 子どもならびに子どもを持つ家庭対策 2
- 医療・介護・福祉分野対策 3
- 年金対策 3
- エビローグ 4
- 足立信也プロフィール 4

『足立信也と安心な日本を創る会』 <http://www.adachishinya.com> E-mail: info@adachishinya.com

民意を加速!!

厚生労働大臣政務官
医学博士 参議院議員



プロローグ (政界転進と政権交代・政務官就任)

始まりは二〇〇二年の秋でした。私は四五歳、外科医として二年目でした。当時、大分舞鶴高校三回生は東京で年二回同級会を開いていましたが、その席上、吉良州司氏(現外務大臣政務官)は『来年、大分で選挙に出るかもしれない』と発言したのです。二〇年以上仕事に打ち込んできた後、社会のリーダーになる、そんな年齢に自分たちもなつたと感じました。

当時、私が身をおく日本の医療システムは世界一と評価されてきました。しかし、少ない医療従事者の奉仕精神でかろうじて水準を保っている日本の医療界はいずれ破綻するのではないかと現場で感じていました。問題点はどこにあって、どのように変えればいいのかを考えるようになったのです。『医療崩壊』と言う言葉など存在しなかった時代です。

そして二〇〇四年、『医療再生』を自らの使命とし、参議院議員選挙に立候補、当選いたしました。

二〇〇五年、当時、前原誠司代表、松本剛明政調会長、仙谷由人ネクスト厚生労働大臣に抜擢され、民主党の医療改革案作りに着手、以来二〇〇九年まで厚生労働分野担当の政調副会長を努め、政権交代によって厚生労働大臣政務官を拝命しました。

医療は社会保障の根幹であり、雇用、介護、福祉につながります。前政権ではコストと捉えられていた社会保障を、民主党政権、長妻大臣の下では成長戦略の中核と位置づけ、社会保障立国を目指したいと思えます。

あ だち しん や

足立信也



政権交代から9ヶ月、私は官僚主導から政治主導へと厚生労働省の改革を進めながら、「国民の生活が第一。」を基本に政策の実現を目指してきました。

前政権下では、社会保障は「コスト」として捉えられ、少子高齢社会においては、その金額の抑制が主題でした。しかし、「社会保障費を増やせば、経済成長は減速し低下する」という前政権が信じ込んでいた仮説は今や否定されました。

社会保障は「未来への投資」と捉えることもできます。昨年末、政府がとりまとめた成長戦略においても、健康・医療・介護分野が成長をけん引する柱の一つとして位置付けられ、社会保障と経済成長の両立を目指しています。

この国のリフォームは始まったばかりです。引き続き、「政策実現力」の安定化に向けて頑張ります。

政権交代後の実績

雇用対策

- **雇用調整助成金の支給要件緩和**
事業主への雇用調整助成金の支給要件を緩和し、80万人の雇用を守りました。
- **非正規雇用者に対する雇用保険の適用**
31日以上雇用見込みの方を雇用保険の適用とし、新たに255万人の方が安心して働けるようになりました。
- **失業者の国民健康保険料の軽減措置の創設**
失業された方の国民健康保険料を約半額に軽減し、87万人の方が安心して医療を受けられるようになりました。

子どもならびに子どもを持つ家庭対策

- **子ども手当の支給および「高校授業料の無償化」**
月々13,000円の子どもの手当の支給を開始しますが、まだ、子どもを持つ家庭への支援としては先進国最低レベルです。次年度以降については、現金給付か、他の育児サービスの支援拡充か等の課題も含め、引き続き検討されることとなります。また、高校の授業料実質無償化も実施しました。
- **保育所、放課後児童クラブの定員の拡充**
今後、保育所の定員を毎年5万人、放課後児童クラブの定員を毎年6万人ずつ増やします。
- **国民健康保険料を滞納していても高校生までは保険証を取り上げない事にしました。**
1万人以上の高校生の医療が守られます。

医療・介護・福祉分野対策

- **健康保険料の上昇を抑制**
リーマンショック以降低迷する経済の中、このままでは大幅に上昇する保険料を市町村国保で12,000円、中小企業の協会けんぽで21,000円、高齢者で21,000円上昇を抑制しました。
- **医師確保対策の基本**
医師不足対策のため、過去最高の医学部入学定員(8,846名)を確保しました。
- **新型インフルエンザ対策**
新型インフルエンザ対策では医療現場の多大な協力を得ながら、先進国中最低の死亡者数(2010年5月12日現在199名、(米国:36,000名))に抑えることができました。
- **肝炎総合対策**
肝炎治療の助成の枠を広げ、自己負担限度額を原則1万円にするとともに、B型肝炎の治療も助成の対象にしました。
- **診療報酬の大幅改定**
医療崩壊の危機打開のため、救急、産科、小児科、外科を中心に10年ぶりの診療報酬プラス改定を実現しました。地域医療連携の強化、チーム医療の推進、リハビリテーションの充実等が入っています。
- **後期高齢者医療制度の廃止**
第1段階として、75歳以上に特定した診療報酬項目17を廃止しました。
- **特別養護老人ホームは3年間で16万床整備します。**
- **介護職員によるたんの吸引、経管栄養等の医療ケアを可能にしました。**
4月から特別養護老人ホームにおいて許容、更なる拡大を検討しています。
- **障害福祉サービス53万人のうち、低所得者40万人の利用者負担を無料化しました。**
- **医療・介護分野の就業者の増加**
成長戦略の核と位置づける医療・介護分野では就業者がこの1年で43万人増加(医療業18万人、介護等23万人)し、659万人となりました。
- **自殺対策の推進**
雇用対策、社会保障関連予算の拡充等により、この半年間の自殺者数は前年比5.0%減少しています。

年金対策

- **年金遅延特別加算金の支給**
年金記録の訂正がなされ、大幅に遅れて支払われた場合330万人の年金が加算されます。
- **国民年金保険料のさかのぼり納付期間の延長**
国民年金保険料の遡り納付期間を10年に延長し、1,600万人が年金を増やせ、40万人が無年金にならずにすみます。
- **国民年金特殊台帳とコンピューター記録との突合せ**
国民年金特殊台帳(3,096万件)との突合せ99%完了、増額となる人にお知らせ送付しました。

国民に安心を、医療に信頼を

エピソード (今後6年の重点政策および政治心)

私は、今まで負担と捉えられていた社会保障を未来への投資と捉えます。

子どもの育ちを支援し、若者の雇用を守り、老後に安心を与え、生活を楽しみなから、安心して働ける、そのような社会の成長戦略の中核に厚生労働行政を位置づけ、強力に推進いたします。

日本の国内総生産（GDP）は世界第2位ですが、一人当たりGDPは17位です。一人当たりGDPが低い理由と考えられるのが、女性（15位、男2位）や元

気な高齢者等の就業率の低さです。従って、一人当たりGDPを上昇させる戦略として、「①就業率を上昇させる②雇用を創出する③生産性を挙げる」ことに取り組みなければなりません。

新成長戦略

輝きのある日本へ!

あり、地域の雇用を増やします。住民は住み慣れた地域で暮らし続けることができ、働く人は自宅や出身地近くで働き続けることができます。そのためには医・食・住が不可欠です。配食サービス、見守りサービス、ケア付き住宅は新たなマーケットであると考えます。

③生産性を挙げる

医療機関の役割分担、連携強化を図り、チーム医療を推進します。ワクチンを初めとする創薬、医療機器、介護福祉機器の開発を制度面から促進し、成長力につなげます。外国人への高度医療・健診・介護機器の提供を推進し、国際競争力を高めます。

①就業率を上昇させる

現在、就業率は56.9%、このまま若者、女性、高齢者、障がい者の就業率が推移すれば、10年後には50万人減って53.4%になります。ですから、若者の正規雇用を増やす。女性、年金受給世代前、障がい者のそれぞれの就業率を上げ、10年後の就業率57%をめざします。

②雇用を創出する

医療・介護・福祉は地域密着型サービスで



長妻厚生労働大臣とトキ八前にて (5月8日)

足立信也(あだちしんや)プロフィール

- 昭和32年 6月5日大分市に生まれる
- 昭和45年 大分市立上戸次小学校 卒業
- 昭和48年 大分市立戸次中学校 卒業
- 昭和51年 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
- 昭和57年 筑波大学医学専門学群 卒業
- 平成 2年 医学博士
- 平成 6年 筑波大学臨床医学系外科講師
- 平成 8年 日本外科学会指導医
- 平成10年 日本胃癌学会評議委員
- 平成12年 日本消化器外科学会指導医
- 平成15年 筑波大学臨床医学系外科助教授
- 平成16年 第20回参議院議員選挙で初当選
- 平成21年 厚生労働大臣政務官就任

【現在の主な役職】

- 民主党大分県連代表代行
- 民主党大分県参議院選挙区第1総支部長
- 厚生労働大臣政務官

足立信也と安心な日本を創る会

大分事務所
 〒879-7761 大分市中戸次6126-1
 TEL 097-548-8484 FAX 097-548-8400
 高砂事務所(民主党大分県参議院選挙区第1総支部)
 〒870-0029 大分市高砂町4番20号
 高砂ビル203
 TEL 097-573-3600 FAX 097-574-4402

●本紙は再生紙を使用しています。